

公共施設マネジメント意見交換会の概要（5月26日実施分）

1. 開催日時・会場

<豊岡地区>

日 時 平成30年5月26日（土） 午前9時30分から午前11時30分

場 所 産業文化センター 2階 第2集会室A・B

<藤沢地区>

日 時 平成30年5月26日（土） 午後2時30分から午後4時30分

場 所 藤沢公民館 2階 洋室C・D

2. 内容

①開会あいさつ（田雑部長）

②公共施設マネジメント事業計画についての説明（大石主幹）

③意見交換会（浅見課長、岩田政策推進室長）

④閉会（浅見課長）

3. 参加者数

<豊岡地区>

参加者 80名

<藤沢地区>

参加者 45名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

※ 応答における表記の例

（公マネ）：公共施設マネジメント推進課

（政策）：企画課政策推進室

公共施設マネジメント意見交換会 質疑応答一覧

<豊岡地区>

No.	発言要旨	応答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・何を理由に公共施設マネジメントを行うことになったのか知りたい。 ・平成 26 年に総務省が地方自治法に基づいて全国の自治体に指示を出した。国からどのような指示を受けて市はこのような計画を作ったのか説明してほしい。この計画は入間市が今後どのような市になるのかにかかわる問題である。この計画は入間市独自のものか。 ・この問題は大変重要な問題であると考えている。公共施設はそれぞれ法律に基づいて作られ、住民の福祉のために存在している。そこを中心に地域が成り立っている。しかし、この計画には市民からの目がない。行政の考え方は今聞いた。それに対し市民は、行政にどのように携わるのかが見えない。各論に入る前に市民の携わり方について明らかにするべきではないか。統廃合問題について決定するにあたり、市民はどのように参加するのか保障されなければ話にならない。行政だけで決めるのか。市民が意見を述べたら行政はどのように反映するのか。某自治体は企画から市民に広報して委員会を開き、議論を行っているが入間市はどのような手段をとっていない。市民意見を聴いてどのように反映するのか策定までの手順が知りたい。 	<p>(公マネ) 国の指示は、平成 26 年 4 月に各自治体に対し、公共施設に対する再整備再配置に関する公共施設等総合管理計画をまとめるようにという内容であった。長期的な視点で公共施設の再編成を行うことが目的であるが、入間市は通達前から公共施設の再編成について検討していた。検討理由の一つは財政状況が厳しいことが挙げられる。公共施設の維持、老朽化による建て替えという課題認識や人口が減少に転じてきていることも、再編成の計画を立てるきっかけとなっている。人口を減らさないための計画を立てて取り組んでいるが、将来の子どもに負担を残さないことを考えると公共施設の適正化が必要である。入間市としては国から通達が出される前の平成 25 年度から公共施設の現状調査を行い、平成 26 年度に公共施設マネジメント白書を作成した。それは約 180 ある公共施設の実態・運営利用形態を示し課題を分析したものだ。白書に基づいて再編成の計画を立てている。国の動向も考慮はしているが、市としての取り組みとしている。</p> <p>(公マネ) 平成 29 年度初めに「公共施設マネジメント事業計画(素案)」をまとめ、7 月～10 月にかけて 9 地区で地区懇談会を開催した。参加者は公募ではないが地域の代表者に参加してもらい、地域事情、感情を含めて意見をもらった。今、その意見に沿って事業計画案を庁内で検討している。しかし、まだ説明を聞いていない人や地区懇談会の代表者だけに意見を聴いただけでは不十分ということで、今回さらに市民に呼びかけ説明会を実施した。これを積み重ねて市民の意見を聴いて計画に反映させていきたい。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 P. 6 の老朽化の写真はどこの施設か。 	<p>(公マネ) 市役所を例にとったものである。</p>

<ul style="list-style-type: none"> • P. 11 の 40 年以上経つ公共施設が 38%とあるが、どこの施設が 40 年以上経過しているのか具体的に知りたい。 • P. 15 のまち・ひと・しごと創生総合戦略では 4 つの柱があるようだが、どの程度の成果があったのか。 • P. 23～24 で 1 つしかない施設（広域対応施設）を 2 ページに分割して示した理由は何か。 • P. 29 には小学校、図書館、学童保育室の複合化のことが書かれているが、平成 13（2001）年 6 月 8 日に大阪府池田市の大阪教育大学附属池田小学校で発生した小学生無差別殺傷事件をきっかけに高いセキュリティを施すべきだという認識がある。教職員も不審者対策研修を受講したりした。複合化することで小学校の安全面が心配である。 • P. 37 では小学校の学級数児童数の推計があるが、これは特別支援学級を含んでいるのか。各学校に特別支援学級は 2 クラス程度あるため、ぜひ特別支援学級も含めて検討してほしい。 • ペDESTロリアンデッキや博物館「アリット」はお金がかかって無駄だと思う。特に博物館については、遠いところにあり、あれほど大きな規模の施設が本当に必要なのか疑問を感じる。規模を小さくしてもよいのではないかと思う。今までも博物館の不要論を唱えてきたが、行政側で、財政状況が厳しくなった原因をしっかりと分析して取り掛かってほしい。（意見のみ） 	<p>(公マネ) 平成 26 年度に作成した公共施設マネジメント白書のデータでは学校 43%、市民文化施設(市民会館等)6.3%、市営住宅 4.8%、行政(市庁舎等)3.6%が該当する。</p> <p>(政策) 4 つの柱を立て、人口減少の抑制の対策として 68 事業を位置づけ取り組んでいる。「①働きやすいまちをつくる」では企業誘致、企業合同説明会、女性就労支援、「②ずっと住みたいまちをつくる」では空き家バンク、同居近居の取り組み、「③子どもの育ちを支える」ではひとり親家庭への学習支援、「④まちの魅力を活かす」ではシティセールスやていーろーど、ていーワゴンの再編などを行って交通の空白地区を埋める取り組みを行っている。結果はすぐに見えるものではないが、1 つ 1 つの取り組みを積み重ね、地道な政策をうち、少しでも人口減少を抑制する対策を行っていく。</p> <p>(公マネ) 1 ページでは収まり切らないために 2 ページに分けた。</p> <p>(公マネ) セキュリティ面に関しては重要な問題で、細心の注意を払うべきと考えている。単純に小学校の余裕教室を使うのではなく、利用者(子どもと大人)の動線を分けたり、別棟にしたりなどいろいろな方策を検討し、効果が見込めるようであれば複合化を行いたい。県内でも小学校を複合化している事例はある。安全性については第一に考えたい。</p> <p>(公マネ) 特別支援学級については含まれていないが、別扱いとして検討している。特別支援学級については改めて把握する。</p>
--	---

<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を聴くならば説明会は夕方や夜に設定の方が良い。今日は高倉小学校の保護者面談があるという話も聞いている。子育て世代が参加できない日に説明会を設定するのはどうなのか。今後説明会等を開催するときは配慮してほしい。 ・市では人口減少対策を行っているようだが、具体的ではない。そして、公共施設の統廃合は人口減少の抑制と逆行している取り組みであると思う。私は3年前に入間市高倉に戸建てを買い、引っ越してきた。しかし、高倉にある公共施設が全て廃止されると聞いて、いざというときに不安を解消できる施設がなくなるところに引っ越してきて失敗したと思っている。そう思う市民の気持ちを現実にしなさいでほしい。また、高倉小学校も廃校になり黒須小学校へ通うことに不満を感じる。黒須小学校まで通学することが現実的に可能なのかを確かめるために、実際に体験してみた。高倉小学校から黒須小学校までは大人の足で45分かかる。距離は2.5kmあり遠すぎる。小学校低学年の足では1時間は超える。山を越え谷を下り、踏切、信号を超えて通学することは現実的ではない。通学時の課題をどのように考えているのか。また統廃合を行うことでPTA組織も変わり、保護者も混乱している。不安以外の声を聴かない。私としては統廃合の問題は撤回してほしい。もし統廃合を行うのであれば、徹底した安全対策と、無理のない距離になるように相当時間をかけて決めてほしい。意見交換会や、市民が参加する委員会を設置して、定期開催し検討していかないと納得できない。 ・人口減少対策をするのであれば、小中学校など教育環境（施設）の充実や今あるものを減らさず、公民館だけでなく、文化センターを増やしたり、若者やファミリー層が入間市に住みたい、住みやすいという環境を作るべきだ。家賃補助、若年層向けの市営住宅をつくるなど大胆なことをしなければいけない。具体的にはハコモノを作っていくことを考えないと、減らしたら人口は増えない。魅力的な事を増やしていく必要がある。入間市が魅力的な市になるように市職員は働いてほしい。(意見のみ) 	<p>(公マネ) 夜の時間帯というのは、昨年度平日の夜間に開催し、平日の夜間では参加しにくい、という声が多かったことから、今年度は土曜日の日中、および日曜日の夜間に開催することにした。できるだけ参加できる機会を作りたい。</p> <p>(公マネ) 学校の統廃合についてだが、昨年度策定した「公共施設マネジメント事業計画（素案）」は現段階ではたたき台として示したものである。決定したものではない。去年の地区懇談会や意見交換会は、小学校統合についての課題も挙げられたが、一方では子どもが減り行事が満足に行えない等の教育環境がよくないのであれば、統合して全校生徒数が増えた方がよいという声もでてきている。登下校の問題については、意見の中には通学距離が長くないように、地域の真ん中に学校を作りたいという意見もあった。様々な意見を聴き、検討していきたい。</p>
----------	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・82億かけた市役所の建替えは不要であると思う。雨漏りがあるのは市庁舎だけでなく、JRや西武鉄道でもビニールシートで対応している。そのため市庁舎も耐震化のみを実施したらよい。建替える理由が分からない。市庁舎を建替えるお金があるのであれば、文化施設にレコーディングできる音楽室をつくってほしい。東京都杉並区にはそういう文化施設が5施設、バスケットボールができる体育施設は4施設あった。子どもが楽しく、大人が来てよかったと思う施設を増やすために、市職員は先進事例の視察をして力を入れてほしい。統廃合問題は白紙に戻し、市民の誰でも参加でき、傍聴も自由な会を夜間に設置して決めてほしい。 (意見のみ) 	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の目線だけで、市民とのかかわりを持たずに計画を進めているのではないか。公民館、小学校は場所や数がはっきりしているが、保育所については場所も時期も規模も明確にされていない。どこにどの程度の規模のものを考えているのか知りたい。昨年度開催された地区懇談会の意見集をみても保育所についての意見が少ないように感じる。これは利用者がこの会に出る機会がなかったからではないか。今回、意見交換会のチラシを子育て支援関係施設にも配ったみたいだが、実際の利用者の意見を聴くには遅すぎる。 	<p>(公マネ) 具体的に示していないのは、市民からの意見を聴き、実現できる場所に設置したいと考えているからであり、実現するまでには、保護者(利用者)に意見を聴きたいと考えている。また、その際には所管課との調整も行う。今後も市民から意見を聴くことは心がけたい。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法第245条に基づいて、総合管理計画は国に提出することになっているが提出期限はいつか。 ・この計画策定にあたっての諸経費は国から一定の補助金がでるはずだが、計画策定についての縛りはないのか。先ほどの説明で総合管理計画は提出したと聞いたが、今回の意見交換会の意見を聴いていると、市民は非常に危惧を持っており、そうした意見を出している。事業計画は平成31年3月末までに決定すると記載があるが、自治体は住民の生活環境を考え独自の政策を立てるべきであると考え。国の指定した計画にかかわらず市として、市民の立場に立った計画を策定するのが大原則ではないか。拙速に決める 	<p>(公マネ) 総合管理計画は総論部分であり、平成28年度までに国に提出することが要請されていたため、策定し、提出は済んでいる。具体的な施設の統廃合は示さなくて良いと言うことで、具体的な事業計画は国への提出は求められていない。</p>

	<p>べきではない。行政が決定したものに対して市民が参加をしていくシステムを構築する必要がある。時間をかけ地区ごとに丁寧に説明するべきである。 (意見のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マネジメント」の意味が分かりにくい。マネジメントと書かれると住民は自分たちの生活に無関係だと思ってしまい、興味を持たないのではないか。分かりやすく、公共施設の統廃合の問題と述べたらどうか。住民の声がきちんと参画できるようにしてから決めてほしい。平成31年3月に決めるのは撤回してほしい。 ・公共施設とは何か。公民館の運営方法や教訓、どのような問題があるかは示されていない。図書館、学校についても同様だ。人口減少、稼働率が低いという説明しかない。公民館を例にすると社会教育法に基づき設置されている。公民館には社会教育主事が何人配置されているのか。図書館に司書が何人配置されているのか。社会施設として住民にどれだけ貢献しているのかの説明もなく、統廃合の基準を示して、数だけで統廃合することに納得できない。 	<p>(公ネ) マネジメントというネーミングについてはご指摘の通り分かりにくいいため、今回はチラシに「統廃合・複合化」と示した。市でも、公共施設におけるサービスのあり方を分析する必要があると考えている。社会教育としての公民館のあり方、保育所、小中学校の需要に対する施設のあり方を考え再編成を決めなければならない。それは十分認識し取り組んでいきたい。行政としては、限られた財源の中で、どこに投資するかを考えざるを得ない。現在ある公共施設を良好な状態で維持し、サービスや施設を増やすことは難しい。求められるサービスをなるべく保ち、できる限り投資をして、市民の需要に応えたい。そのためには施設は多少我慢をしてもらい利用してほしいと考えている。提案した事業計画はそのような考えの基で計画したものである。どこに重点を置くかは今後も検討する。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生総合戦略を遂行すれば今回のような取り組みは不要だと感じた。しかし、今回の説明を聞いているとまち・ひと・しごと創生総合戦略がまるで意味を成していないかのような説明であった。この政策を行うことで子どもの人数が増えるはずである。子どもの数が増え、人口が増えればこのような計画は不要ではないか。この政策はどれだけ効果があがると考えて取り組んでいるのか。公共施設マネジメント推進課と企画課で情報共有はどのように行われているのか。 	<p>(政策) 何も対策を講じないでいると平成72年(2060)年に人口は9万人を下回るという推計が出ている。この傾向を抑制し12万人の人口を維持しようというのがこの計画の目指すところである。大規模開発を行えば人口増加も考えられる。しかし、いずれまた人口が減り、人口の増減を繰り返すことになる。ずっと住みたいまちをつくり、地道に入間市の良さを分かってもらい、人口減少のカーブを緩やかになるように取り組んでいる。今ある施設を安全で快適に使うためには限られた財源で、修繕・維持管理をしなければならない。しかし、修繕に充てるお金は高齢者への扶助費や制度が増えていることで減額され、市が自由に使えるお金があまりない。今存在するものを維持し、良いものにするという視点で、人口減少対策で対応が難しい部分を公共施設マネジメントで埋め合わせ、よりよい入間にしたいと考えている。全庁的課題としてすべての部署で共有している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用率が下がった理由を分析しなければ統廃合を行っても利用率の回復にはつながらない。(意見のみ) ・ITやAI、ロボットなどの新しい技術進出も考えられる。働き方改革で市役所の職員の働き方も変わることも見据えて取り組んでほしい。総合的観点で見直してほしい。(意見のみ) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市の良さを分かってもらおうという説明があったが、入間市の良さはどこと考えるのか。私は思いつかない。(意見のみ) 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた財源の中ではあるが、市民が参加して取り組んでいけるようにしてほしい。(意見のみ) ・アンケートについて直してほしいところがある。自由記述欄は最後にあるが、各項目につけてほしい。アンケート内容は二者択一式である。施設は充実して市民負担は減らしてほしい。そして行政サービスは向上してほしいという選択肢がない。市民の本当の声を拾うためにもアンケートの各項目に自由記述欄を作ってほしい。市民一人ひとりの意見を反映させてほしい。 	(公マネ) 工夫したい。余白部分があればそこに、自由意見を記述してもらいたい。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の建替えについて是正を求める。市は耐震化を行っても耐用年数は延びず、耐震化工事を行ってもまた建替えをおこなわなければいけないため経済的ではないと示しているが、それは間違いである。耐震化の内容によって建物は90年100年と使用することができる。 	(公マネ) 次回耐震化についての説明会を行うが、その際の意見として承る。

<藤沢地区>

<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P.6 に劣化状況の写真が載っているが、それを見ただけでは市役所を建て直すというのは、公平性に疑問がある。市役所だけでなく、学校や公民館にも雨漏りしているところはある。次回劣化の状況を詳しく説明してほしい。 ・P.30 の地区センターについては反対はしないが実現することは可能なのか。エリアを含めて再考すべきだ。職員の人数は足りるのか。市長は職員数の削減を公約に掲げている。地区センターを各地区に設置するとなると専門職の配置や相当数の職員が必要になるのではないか。 ・子どもの人数推移表があるが、藤沢地区は子どもの減少が見受けられないのに、学校をなくすというのは非現実的ではないか。もう一度よく考え直してほしい。 ・P.93～P.94 には第一期についてはおおむね確定と記載があるが、確定するのであれば、いつどの施設がどうなるのかという名前がでてくるはずであるのに、今は何も示されていない。具体的な名前や場所、規模が決まるのはいつなのか。原案の確定時期なのか。まだ先なのか。 ・地区センター化を行ったら、藤沢公民館に入っている図書館分館はなくなるのか。 	<p>(公マネ) 意見として承る。</p> <p>(公マネ) 現在の施設を地区センター化すると、支所がない公民館は狭く、各地域の公民館の規模に違いがある。そのため、サービス内容を具体化する中で、その施設にあったサービスを段階的に提供することを考えている。サービスの提供体制や組織の問題もある。これらの課題をより具体化して、それを市民に説明して意見を伺ってから計画としてまとめたい。</p> <p>(公マネ) 藤沢地区については他の地区に比べると、小学校と保育所は人数の減少はわずかであるので、30年間の方向性としては統廃合を考えるが、実際は児童生徒の減少状況を見ながら検討する。時期については決定できない。</p> <p>(公マネ) スケジュールについては、昨年度地区懇談会を開催し、今回意見交換会で意見を聴き、案をまとめたい。原案については、今後10年間はある程度早く取り組む必要のある計画で、11年目以降長期的視点で取り組む必要のあるものは方向性を示す程度である。原案をまとめた後、平成31年初めにパブリックコメントや説明会を行い原案を説明する予定である。</p> <p>(公マネ) 小学校の複合化と併せて検討する。</p>
<p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度地区懇談会にも参加をした。そこでは、統廃合の意見はあったが、市役所の耐震化についての質問をすると、今はマネジメントの話であるとして詳しい説明がなかった。しかし、市役所、市民会館を耐震化することが大きな問題だと考えている。慎重に検討してもらいたい。耐震化を行うにしても建替えを行うにしても市民の税金が使われる。市民にとって納税は大変である。市役所、市民会館・中央公民館は最小経費で耐震化を行ってほしい。ペDESTリアンデッキ、ユナイテッドシネマ周辺を 	<p>(公マネ) 6月23日に改めて耐震化問題についての説明をする時間を設ける。耐震化を必要最低限の経費でおこなってほしいということで、今回は意見として承る。</p>

	<p>歩くと通行人が一人もいないときがある。ユナイテッドシネマに関しては看板のロゴが消えており、老朽化が進んでいる。市役所、市民会館・中央公民館の耐震化については十分に市民の意見を聴いて行うべきである。勢いで進めるのではなく、少ないお金で耐震化するべきである。</p>	
3	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少対策に元気な子どもが育つまちというものがあるが、その中に外国人を積極的に受け入れることを検討した方が良い。外国人は観光客ではなくて転入者として受け入れることを考えてほしい。 保育所や学校を昔の市町村枠にとらわれて各地区 1 校という割り当てで減らすより、人口動態の変化をよく見て視野を広くして考えるべきだ。 入間市駅と武蔵藤沢駅の利用者は、昔はかなり差があったが今はそれほど差がないように感じる。しかし、路線バスを見ると、武蔵藤沢駅周辺はあまり変わらない。宮寺地区は所沢市や青梅市から入間市へアクセスしているが、入曽から宮寺までのバス路線を考えることはできないのか。それは高齢化対策にもなるのではないのか。 藤沢地区は高低差もある。公民館を統合するときに工夫が必要であると思う。藤の台公民館は地区センターとして大事な役割を果たすだろう。運営は地域に託すという方法も考えてみてはどうか。狭山市と連携して入曽と藤沢をつないで宮寺までつなぐことはできないのか。宮寺は藤沢と併せて考えてみることも検討してほしい。 	<p>(政策) 外国人対策も大事だと考える。シティセールスとしてはインバウンド対策として PR 方法整備、情報発信体制の検討はしている。外国人受け入れ対策もチラシや案内等で様々な国の言葉で対応している。それでも足りないところは研究したい。</p> <p>(公マネ) 改めて課題として認識する。</p> <p>(政策) 公共交通については、宮寺は箱根ヶ崎方面までのバス路線も無くなり、小手指駅までの路線しかなく、入間市駅までの路線もない。西武バスの黒字路線はアウトレット行のものだけという話であるが、西武バスと引き続き協議を行っていききたい。公共交通の空白地帯をてい一ろど、てい一ワゴンで埋めたいと考えており、今年から東金子・金子・宮寺はてい一ワゴンを運行させている。</p> <p>(政策) 入曽と藤沢を結ぶ路線については、狭山市と入間市で公共交通部会を立ち上げ、コミュニティバスの相互乗り入れについての検討を始めるようだ。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化している施設は市にどれくらいの数あるのか。また、施設の維持管理費は幾らかかるのか。現状を資料として詳細を示したり、市としての課題を示してほしい。 今、入間市で行おうとしている長期計画との整合性はとれているのか。長期計画の視点で説明してほしい。 	<p>(公マネ) 平成 26 年に公共施設マネジメント白書を作成し、約 180 ある施設の現状、劣化状況、運営、経費等を把握し課題を抽出した。機会があれば公共施設マネジメント白書を見てほしい。</p> <p>(政策) 第 6 次入間市総合計画の中で前期計画が 5 年間あり、その中で福祉・教育・建設等の施策を示している。財政計画を見据えた計画で人口減少を基に推計すると財政が落ち込む。そうなれ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 向こう 10 年については今年度決定することだが、方向性だけではなく、財政面の試算が必要。現状を示し、今後の展望について財政状況を示しながら説明してほしい。全体像が見えない。 総合計画の前期基本計画は平成 33 年までという話だが、平成 31 年度に公共施設マネジメント事業計画を確定する場合、両計画の整合は図れるのか。その都度改定していくものなのか。 	<p>ば今後施設を維持していくことが難しい。人口減少対策は行うが、その対策だけで対応しきれない部分を公共施設マネジメントとして対応し、安定した入間市を運営していく。公共施設マネジメント事業計画が固まれば、総合計画に組み込めるようにしたい。</p> <p>(公マネ) 試算は一定基準を作って概算を出した。次回示す耐震化も含めて計画と並行して固めたい。金額も市民に示し判断材料として見てほしい。</p> <p>—スライドを示す—</p> <p>(公マネ) 今ある施設をすべて同規模で維持して修繕や更新したとき 40 年間で年平均 47 億円かかるという結果が出た。今後の財政状況を見ると、現在の見込みでは公共施設の整備にかけられるお金は年平均 19 億円程度である。47 億円必要であるのに 19 億円しか当てられず、整備したくてもできない施設が多くなるだろう。そうなれば再編成が必要と考える。必要な事業費は事業計画案での統廃合や複合化の案によって変わる。</p> <p>(政策) その時点での改定は反映していない。後期計画については改定する。前期基本計画の下に毎年見直しをする実施計画があり、それにはしっかりと反映したい。</p> <p>(公マネ) 計画中の地区センター、福祉総合窓口は前期計画ですでに位置づけており、それに基づいて検討している。計画の中の具体的な部分は整合を取っている。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> 今日は藤沢地区の小学校の引き渡し訓練があり、この説明会に参加しにくい。今後このような説明会を設定する際は子育て世代が参加しやすい時間にしてほしい。(意見のみ) 待機児童や学童保育室の問題もある。これらの計画は総合計画が優先されるのか子育て支援の計画にあわせるのか。 	<p>(政策) 総合計画の 4 つの柱立ての中に「支えあいのまちづくり」という柱がある。その中で子どものことも掲げている。どちらが優先というわけではなく、総合計画の目標を叶えられるように取り組んでいきたい。</p> <p>(公マネ) こども支援部と保育所、学童保育室について協議を行っているので全く異なる形にはならない。実際にまちづ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、小中学校の統廃合をしたら子どもが大人になったとき母校がなくなり、子どもの思い出をどのように残すと考えているのか。子どもが大人になっても思い出とともに住める施策を作してほしい。 	<p>くりが実現できるように施設の再編成を考えている。今後もこども支援部との調整は密に行っていきたい。</p> <p>(公マネ) 統廃合後、跡地活用も考えたい。昨年度の地区懇談会でもその話はあった。個々の地区施設によってどういう形になるか異なる。具体化するまで配慮すべき課題であると認識している。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・P. 25 で、民間活力や広域連携の話が少しあったが、目線が行政サービス(役所サイド)に絞られている。民間活力を導入すると役所は何を行うのか。行政サービスの問題は大変革の時期である。サービスの低下、ハコモノを減らす等、行政の話だけである。民間活力の導入を合わせて検討し、維持管理・経費が今までとどのように変化するか、サービスが維持向上できるかを合わせて考えてみてはどうか。税金だけですべて賄うことは無理であれば、利用者負担も考えて検討してはどうか。そうすれば幅広い行政サービスの方向性が持てるのではないか。 	<p>(公マネ) どのようなサービスが市民から求められ、何を行政が行い、何を民間が提供することが適切なのか、費用負担、施設に限らず行政サービスのあり方も考えていきたい。意見として承る。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・P. 74 藤沢東小学校と藤沢南小学校を統合したら全校生徒数が一番多いときより人数が増えてしまう。P. 94 におおむね確定とあるが、現時点で確定している内容は何かあるのか。公民館3館を2館へ時期を見て地区センター化というのは10年間を行うことなのか。学童保育室についても学校、保育所についてもすべての施設はいつ統合されるのか。10年間で行うのは何か。 ・藤沢地区が今後どうなるのか知りたい。展望を明確に示すべき。 ・P. 72 に公民館を2館にするとあるが、それは、10年間の計画には入らないというのなら具体的に明記してほしい。10年間の計画だけを示して、30年間の課題は別に示したらどうか。現状をよく見て決めてほしい。危機が迫ったら市民も納得するが、今そのような状況ではないと思っている。藤沢東小学校と藤沢南小学校を統廃合し、学童保育室や図書館を入れる余裕はないはずだ。地域の人口動態を表さないと市民も混乱してしまう。 	<p>(公マネ) 事業計画を定めるのに10年ごとに3期に分けて定めている。まず大きな枠組みとして30年後のイメージを確定し、直近の10年の再整備の計画を立てる。2段階構えである。藤沢の児童減少はわずかで、統廃合は先の話である。おそらく第一期に統廃合は行えないと考える。しかし、30年間の課題ではある。地区センターも時期は未定であるが、方向性は決めたい。</p> <p>(政策) 今後の展望は、駅周辺、支所周辺等を生活拠点としていくことを見据えてまちづくりを考えていく。</p> <p>(公マネ) ご意見として承る。</p>

<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画と公共施設マネジメントを分けて考えるなど細かく分けて考えすぎではないか。まず、9地区にこだわる理由は何か。都市計画上では人口減少に伴い、市街化区域を減らすのではないか。そうなればどここの施設を減らすという議論はおのずと結論がでるはずである。都市計画と公共施設マネジメントの計画に整合性が感じられない。今後どのようなまちにしたいのかが示されておらず、質問についても、いつも同じ内容がでることになる。 ・総合計画は公共施設マネジメントを議論する上で抽象的ではないか。藤沢地区は角栄団地、駅西側、西武グリーンヒルとエバープレイスガーデンの3地域に分けられる。公民館の配置は藤沢地区の特性をとらえていると思う。藤沢地区の区域は2つだから公民館を2館にするのは地域特性を無視していないか。この地域は高齢化するから対応した施設を設置する、若い人が多いからその施設を設置するというように議論していくなら分かるが、そのように議論しているように感じない。住民と行政の対話が十分ではないのではないか。住民がどのようなまちにしたいのかが大事で、市に計画を作らせるのは間違っている。住民は説明会等を平日に開催されても参加できない。都市計画に合わせ、住民に対して説明し、市民が意見を出す、行政と住民がコミュニケーションをとる手段を作してほしい。 ・借地解消は得策とは思えない。土地を所有することを考えるのは古いのではないか。公民館が老朽化しているのならイオンに移してもよい。借地にとらわれすぎると、PFIなどの可能性を狭めてしまうことになり、思考の柔軟性を失わせる。 ・藤沢から向原中学校に行く人もいる。地域特性にわけて取り組む必要があるのではないか。最低クラス数を示し、その数を何年下回ったら統廃合するなどのルールを設けてはどうか。(意見のみ) ・入間市は住みやすいまちであると思っている。もっとみんなでよいまちにしていきたい。(意見のみ) 	<p>(公マネ) 段階を追って具体化するために計画を作っている。公共施設マネジメントは、まちづくりと切っても切れない関係である。総合計画、総合戦略、それぞれの計画とも整合を図らなければいけない。その中で都市整備とも整合を図っていかねばならないと考えている。都市整備の方向性を考えながら、長期計画として見直しをしていくこともでてくる。様々な状況を考え調整していきたい。</p> <p>(公マネ) まちづくりに関する提言については、市として持ち帰って検討する。</p> <p>(公マネ) 借地については、施設ごとに見ていく。今ある借地を長期的に借り続けるのではなく、購入を検討することもある。統廃合を行うことで借地が解消できるなら解消したいと考えている。具体的にはそれぞれの事案ごとに検討する。</p>
----------	---	---